

本校は、教育理念に謳っているように、生命の尊厳といつくしみの心を基盤とした人間性を育み社会に貢献できる看護師の育成をめざしています。教育・管理運営の質の維持と向上を図るために、本校は、自己点検及び評価を毎年行い、評価結果を本校のホームページにて公表しています。

| 令和3年度 学校運営評価結果 | | | | | | | | |
|----------------|--------|--------------|-------------|-------------|-----------|---------|------------|--------------|
| 評価項目 | I.学校経営 | II.教育課程・教育活動 | III.入学・卒業対策 | IV.学生生活への支援 | V.運営管理・財政 | VI.施設設備 | VII.教職員の育成 | VIII.広報・地域活動 |
| 令和3年度 | 3.23 | 3.54 | 3.66 | 3.33 | 3.35 | 3.45 | 3.04 | 3.13 |

※評価基準は、3点を標準としています。



| カテゴリー | 主な項目 (要約) | 平均値 |
|-------------|--|------|
| I 学校経営 | 教育理念や教育目的を指針として、年度初めに組織目標を挙げ評価している。本年度は自己評価に加え学校関係者評価を受け、改善を要する深刻な点は見当たらず適正に学校運営がされているとの評価を受けた。 | 3.23 |
| 2 教育課程・教育活動 | 授業に関しては、各教員が授業評価(学生の反応、アンケート、試験等)をもとに、より効果的な授業内容や教授方法の工夫に努めている。実習では、実習施設側との連携を図り体制を整えていった。新型コロナ感染拡大に伴い臨地での実習が制限さ | 3.54 |

| | | |
|--------------|--|------|
| | れ、校内実習となることがあったが、実習目標達成に向けて実習方法の工夫に努めた。令和4年度から新カリキュラムが導入され、新旧カリキュラムが並列しての実施となるため、円滑なカリキュラム運営をしていく。 | |
| III 入学・卒業対策 | 入学志願者の確保に向けて広報活動（高校訪問や電子媒体の活用等）や、オープンキャンパスを、感染対策を行いながら実施し、入試の応募者数の確保につなげた。国家試験対策では学生個々の状況に合わせて丁寧な学習支援を行い本年度も合格率100%であった。また就職率も100%を達成している。卒業生へは卒業時に継続支援の案内を行い自己学習のための図書室の利用等がある。 | 3.36 |
| IV 学生生活への支援 | 新型コロナ感染対策を講じ、校内で感染拡大に至ることはなく学校生活を継続することができた。年次の学習・生活担当の教員を中心に学習・精神面での支援が丁寧に行われている。また専任のカウンセラーも配置し、必要に応じて学生が相談できる環境を整えた。 | 3.33 |
| V 管理運営・財政 | 財政は予算に応じ優先度をふまえて管理されている。総合防災訓練はコロナ禍により縮小しての実施となった。災害時マニュアルの周知や、通学時の自転車事故防止に向けて交通安全教室等の実施を検討していく。学生満足度調査は年2回実施しており、学生意見を学校運営へ反映できるよう検討している。 | 3.35 |
| VI 施設・設備 | 演習室や図書室、ゼミ室等は学生の学習活動のために活用されている。新型コロナウイルス感染対策に伴い遠隔授業や視聴覚教材の使用をする機会があったが、通信環境や機材の不備がみられ、随時対応した。次年度も新カリキュラム運用に伴いICT推進に向けた整備に取り組んでいく。 | 3.45 |
| VII 教職員の育成 | 教員の資質向上に向けた講演会や各教員の専門性を研鑽するための学会・研修会への参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEB参加により継続した。学会や研修参加の成果を教員間で共有できる体制づくりに取り組んでいく。 | 3.04 |
| VIII 広報・地域活動 | ホームページのタイムリーな更新に向けて取り組んだ。今後も学校の更なる周知を目的とし広報活動に取り組んでいく。地域貢献・奉仕活動としては、年3回の大掃除時に学校周辺の清掃活動を実施した。また学生祭として健康教育的な視点での学習発表を行いホームページ上で公開した。 | 3.13 |